

知りたくなかった ワーキングホリデーの裏側(TT)



【ワーキングホリデー後悔事例集】

こうすれば、あなたも間違いなく、
ワーキングホリデーで後悔することができます。

ご注意: マネしないで下さい。

【無料レポート Ver 1.0】

著者 瀬戸口 理蘭(Rika Setoguchi)

作成日 2007.10.29 / 更新 2009.06.16

まえがき

「もう限界なんです。」

あんなに高額なワーキングホリデーサポート料金を支払って、
ワーキングホリデーに来て、後悔してしまう人を増やすのは…

はじめまして。申し遅れました。

2007年3月末から7ヶ月間、オーストラリアへワーキングホリデーをしていた瀬戸口理蘭と申します。

私も一つ間違えば、ワーキングホリデーで出会った友人と同じく、
多額のお金を無駄遣いするところでした。

実は、私も、ワーキングホリデーをする前に、たくさんの情報寄せを集め、
多くのワーキングホリデー・サポート会社へコンタクトをとる日々を続けていました。

が、しかし。

そこには、多くの落とし穴がありました。

ですが、私は、かろうじて、その落とし穴にはまることなく、
スムーズにワーキングホリデーの準備をすることが出来ました。

しかし、多くの人は落とし穴にはまってしまう傾向にあります。

なので、ワーキングホリデーのサポート会社へ無料相談をする前に、
もっと知って欲しいことがあります。

それは、サポート会社(エージェント)に関すること全般の知識です。

私が7ヶ月間、オーストラリアに滞在し、
出会った日本人が暴露した、あまりに悲惨な高額サポート会社の実態をお伝えしたいと思います。

但し、会社を実名では暴露できませんので、ご理解の程、宜しくお願い致します。

『知りたくなかったワーキングホリデーの裏側(TT)』無料レポート Ver1.0

「知りたくなかったワーキングホリデーの裏側(TT)」(以下、「テキスト」と表記)を読んで頂き、ありがとうございます。

本テキストは著作権法で保護された著作物です。本テキストの使用に際しましては、以下の点にご注意ください。

本テキストの著作権は、すべて著作権責任者・瀬戸口理蘭に属します。

著作権者の事前許可を得ずして、本テキストの一部または全部を、あらゆるデータ蓄積手段(印刷物、ビデオ、テープレコーダー、および電子メディア、インターネット等)により複製および転載することを禁じます。

使用許諾契約書

この契約は、テキストをダウンロードされたあなたと、著作権責任者・瀬戸口理蘭との契約です。

テキストのダウンロードおよび開封を持って、この契約に同意したものとなります。

第1条 目的

この契約は、本テキストに含まれる情報を、本契約に基づきあなたが非独占的に使用する権利を許諾するものです。

第2条 一般公開の禁止

本テキストに含まれる情報は、著作権法によって保護されます。

また秘匿性の高い内容であることを踏まえ、あなたはその情報を著作権責任者・瀬戸口理蘭との書面による事前許可なしに出版および電子メディアによる配信等などにより、一般公開ならびに転売することはできません。

第3条 契約解除

あなたがこの契約に違反した場合、著作権責任者・瀬戸口理蘭は事前の通告なしに、この使用許諾契約を解除することができるものとします。

第4条 損害賠償

万一、あなたが、本契約第2条の規定違反された場合、あなたは本契約の解除に関わらず、著作権責任者・瀬戸口理蘭に対し、違反罰則金として違反件数と販売価格を乗じた価格の10倍の金額を支払うものとします。

第5条 その他

本テキストダウンロード後のあなたの全ての行動の責任は、あなたに帰属します。万一、いかなるトラブル・損害等が生じた場合においても、著作権責任者・瀬戸口理蘭はその結果に責任を負うものではありません。

多数の方に遵守していただいている前提ではございますが、秘匿性の高い情報商材という性質上、上記は記載の必要があります。どうぞご理解ください。

あなたのご理解・ご協力、心より感謝いたします。

目次

【第一章 エージェントとは！？】	----- 5
1 - 1: エージェントって何！？	-----5
1 - 2: 有料エージェントと無料エージェントの違いとは！？	----- 6
1 - 3: 日本エージェントと現地エージェントの違いとは！？	----- 7
1 - 4: エージェントを使って、受けた方がいいと思うサービス内容は！？	- - 8
【第二章 エージェントの落とし穴とは？】	----- 9
2 - 1: 今までに聞いた最悪の日本側のエージェント例	----- 9
その 1: 契約させるのを急かせるパターン1	----- 9
契約させるのを急かせるパターン2	----- 11
その 2: 契約してから、態度ががらりと変わるパターン	- - 12
その 3: 担当者がコロコロ変わるパターン	----- 13
その 4: しつこい営業&営業電話	----- 15
その 5: 解約金	----- 17
その 6: 換算レート手数料	----- 19
その 7: ホームステイ先、寮に関連1	----- -21
その 8: ホームステイ先、寮に関連2	----- -23
【第三章 あとがき】	----- -25

【第一章 エージェントとは！？】

1-1: エージェントって何！？

「ワーキングホリデー」しよっ。

さて...どうやって、情報集めようかな？

検索エンジンで調べたり、ガイドブックを読めば、それで何とかかな...

そんな感じでいろんな情報を集め始めますよね？

すると、いろんな留学・ワーキングホリデーサポート会社を知ることになっていきます。

このサポート会社を、通称、エージェントと呼びます。

(完璧にワーキングホリデー用語ですね^^;)

ただ、このエージェントにも種類があり、

オススメできるエージェントもあれば、できないエージェントがある。

というのが、事実です。

具体的に社名をあげることはできませんが、

種類ごとに分けた見分け方をお伝えしようと思います。

大まかに分けて、

「有料エージェントと無料エージェント」、

「日本エージェントと現地エージェント」に分かれております。

では、説明していきたいと思います。

1 - 2: 有料エージェントと無料エージェントの違いとは!?

エージェントには、
『有料エージェント』と『無料エージェント』があります。

何が違うかといえば、
読んで字のごとく、サポートしてもらうためにお金を支払うかどうかです。

当たり前ですよね^^;

ただ、注意してもらいたいのが...

**無料エージェントと名乗っていても、
サービス内容によっては、料金を取るサービス内容もありますし、**

**有料エージェントと名乗っていて、
料金を支払っても満足なサポートを受けることができない場合もあるのです。**

これはホントに自分の判断(サイトなど)だけでは、
難しいです。

これを見極めるのは、人の意見をもらうしか方法がない。と私は思います。
実際に利用した人の声を、自分で探して回ることですね。

サイトには、どう考えても、いい事しか書いていないですからっ!

いいですか!?

サイトには、いいことしか書いてないのは、当たり前です。

当たり前ですよね?

だって、どの会社もあなたに利用して欲しいのですから...

なので、私は利用した方々の感想を聞きだすことをオススメします。

1 - 3 : 日本エージェントと現地エージェントの違いとは！？

**日本エージェントは、日本でお客さんを集めるのが主流で、
現地エージェントは、現地でお客さんを集めるのが主流です。**

と、いいまでも、
日本エージェントは、海外へ
現地エージェントは、日本へ進出している現状はあります。

なので、見極めるのは困難だったりします^^;

**見極めるポイントとしては、
本社がどちらかにあるかで大抵はわかります。**

本社が海外になっていて、支店が日本になっていれば、現地エージェント
本社が日本になっていて、支店が海外になっていれば、日本エージェントですね。

私が見てきた感じでは、
日本エージェントに多いのは、有料エージェントで、
現地エージェントに多いのは、無料エージェントです。

**しかも、現地の無料エージェントであれば、
自分が受けたサポートのほとんどは、無料でした。**

なので、私は、現地の無料エージェントをオススメしたいと思います。

では、早速、無料エージェントを使っていて、
便利であったなぁというサービスをお伝えしますね。

1 - 4 : エージェントを使って、受けた方がいいと思うサービス内容は！？

私が実際に日本からオーストラリアへワーキングホリデーをし、7ヶ月滞在し、帰国するまでに役立ったと思う無料エージェントのサービスをお伝えます。

学校相談 & 学校見学手配

仮宿手配 (ホームステイ手配料は有料)

基本的に分からないことを何でも質問できる。

条件ありだけど無料。

会員になれば無料。しかし、そうでなければ、有料

(...といっても、安いところでは1ヶ月数ドルとか。)

荷物預かり

私書箱

インターネット一日1時間 or 30分

語学学校に行ったらという条件で

インターネット滞在中 一日何時間でも無料

などなどです。

はっきりいって、コレだけあれば、意外とどうにかかなります^^

(時として、日本人の友達に色々聞けば、友達が現地のカウンセラーに変身なので^^)

有料オプションとしては...

空港お迎え (エアークリックアップ)

ホームステイ先手配

が、ありますが、両方あわせても相場的には \$ 300 くらいですね。

こんなサービスを無料、もしくは、少額料金で受けられるにもかかわらず、

多額のサポート料金を支払い、かつ、

このようなサポートさえも受けられなかった友達に何人も出会いました。

なので、私は、いろんな真実を伝えていこうと思いました。

では、実際に、現地で会った友達から聞いた

実体験を今から包み隠さずお伝えしたいと思います。

【第二章 今までに聞いた最悪のエージェント対応とは？】

ワーホリでオーストラリアに7ヶ月間滞在して、
ワーキングホリデー会社が推奨する高額プログラムを申し、
ワーホリに来た人たちが嘆くさまざまな酷い体験を聞いてしまいました。
その体験話の一部をお伝えしようと思います。

その1

契約させるのを急かせるパターン1:

「オーストラリアに行って、英語を教えながら、ボランティアをしたい、
でもそういうのってどうしたらいいんだろう？」
そう思ってワーキングホリデーサポート会社に相談しに行った時の話。

正直、気持ち的には冷やかし気分で、
もちろん、その日のうちに契約をしたいなんて思ってもおらず、
「ボランティアやプログラムについて感じている疑問をありったけぶつけちゃえ！」
くらいに考えていたのです。

ですが、いざ、サポート会社の営業の方と話をしていたら、
すごく親切な感じで、コーヒーとかも出してくれて、
「すごく、頼れるところかもなぁ」とかって思っていたら、
肝心の私の質問は、あまり答えてくれずに、
ボランティアやプログラムの説明もそこそこで、違う話へ上手く展開されていました。

例えば、その会社を通すことで英会話教室が無料で受けられるとか、
色んな手間をかけるくらいならお金を払って手間を省いた方が楽ですよとか。

話はプログラムの話と言うより、
『その会社で契約をしたらどんなにいいか。』
という話ばかりで、聞きたい答えは返ってこないでうんざり。

いいかげん帰りたくなって適当に話を聞いていたら、
いつのまにか話は契約の話になっていたのです。

まだワーキングホリデーするまでに、半年以上あるというのに、
「今日、契約してもらわないと、準備に時間がかかるので、
早めに申し込んだ方が言いと思いますよ。」と、何度もしつこく迫られて…
家に帰してくれないぐらいの感じでかなり困りました。

私が話す時間を与えないぐらいの営業トークが続き、
とりあえず、自分が口を挟むことができただけで、かなりほっとしました。

これ以上、話を聞きたくない雰囲気を出しても、
全く帰してくれない感じで、かなり怖かったです。

プログラムの契約書を持ち帰りたくもなかったのですが、
そうせざるを得ない状況になっており、
とりあえず、持って帰り、自分の家に帰れるという選択肢があるだけで、
生きた心地がしました。

エージェントのビルを出る時は、
「もうこんなところに二度とくるか！」と、ビルの壁を蹴飛ばしていました。

契約させるのを急かせるパターン2:

英語が話せないまま、日本からいきなり海外に行き、
果たして、自分やりたい仕事(英語を使う仕事)が見つかるのか不安で、
いろんな情報をチェックしていた頃。

ワーキングホリデーのサポートをするという会社が、
無料説明会を行っていたので、参加してみました。

オーペアとかファームステイとかいろんな聞きなれない言葉を知り、
ちょっと興味を持ったので、
「仕事はどうやって探せますか？」と、直接聞いてみると、
話をはぐらかされるように、
「このオーペアプログラムはどうですか？」などと、勧められてしまいました。

あまり無駄なお金を使いたくないと思っていたので、
仕事の探し方を知りたかったのだけれども、
聞きたいことは、聞けず、でもオーペアには関心あるしなぁ...と思いながら、
勧められるサポートプログラムの内容や料金を聞いていました。

すると・・・「今、オーストラリアドルが高騰なので、
今すぐに申し込まないと10%UPされてしまいます。」などと、
契約をしなければならぬのか！？というような雰囲気になりました。

しかし、ゆっくり落ち着いて考えたいと思い、
「とりあえず、家に帰って、ゆっくり考えたい。」と熱心に伝えても、
なかなか分かってもらえず、半ば、無視する形で帰りました。

それでもしないと、帰れそうにもなかったので、
本当に帰ることができ、ほっとしました。

その時、とりあえず契約書を持ち帰ったものの、
実際は、無料でオーペアの仕事を探せることを知ってしまい、
あまりに馬鹿馬鹿しくなり、契約書を破り捨ててしまいました。

その2

契約してから、態度ががらりと変わるパターン1:

ワーキングホリデーに興味を持ち始めていた頃、
ワーキングホリデーに関する本を数冊買い、じっくりと読んでみました。

しかし、本を読んでも、自分が知りたいことがあまりわからず、
たくさんの会社の中から、
無料相談をしてくれるという会社を数社見つけ、実際に相談に行きました。

「また分からないことがありましたら、メールでも下さいね。」
と、感じの良い対応をもらったので、感じのよさそうな会社に何度も質問してみました。

「英語ができないんですけど、ワーキングホリデーに行っても大丈夫ですかね？」
「私たちの会社では、海外出発前に、無料で英会話講座を開いているので、
それを利用されることで、英語力をあげることができますよ。」

などのように、色々な質問をしても、
自分の満足のいく返信をもらったので、契約をすることにしました。

しかし、契約をしたとたんに、質問をしても、
用意されたメールをコピーし、
私の名前を入れたような定型的なメールばかり。

「これ、ホントに私のために書いているのかな？」
「どうみても使いまわしでしょ。これ。」

正直、ショックでした。

「最初のサポート代の10万円だけ入れれば、いいってこと？
ちょームカツク。」
そんなメールを返してやりたいくらい、ムカつきました。

案の定、質問しても定型の返信ばかりで、全くがっかりでした。

「手抜きもいい加減にしろっ！！！」

その3

担当者がコロコロ変わるパターン:

初の海外生活という事もあって、
サポート会社にワーキングホリデーについての質問をしに、
無料相談を利用しに行きました。

意外と狭いオフィスで大丈夫かな?と思ったけれども、
ワーキングホリデーや留学に関する情報誌などがおいてあって、
相談者にはやさしい環境のように見えました。

「初めての方ですか?」と聞かれ、
「では、こちらへご記入をお願い致します。」と言って、
名前、住所、電話番号、メールアドレス、どこでこの会社を知ったか?などの
個人情報を記入した後に、無料相談がはじまりました。

大学時代にアメリカへ留学していたというカウンセラーさんだったので、
とても親身になって話をきいてくれました。

そんなに嫌味な感じではなく、
自分が聞きたいことを全て答えてくれたので、
いいなぁ~と思って、プログラム案内や契約書を持ち帰ってみました。

実は、その会社以外のサポート会社も回っていたのですが、
結局、最初のサポート会社が一番良さそうだったので、
そこに決めてみました。

が、しかし、契約後…

最初に相談していた人と異なる人が担当になることになり、
後任の人に、また細かく自分がどうしたいのかを説明するのは、
かなり面倒でした。

また、私が前のカウンセラーさんに要望していたことに対して、
「そんな話は聞いていない。」とか言われ、話をそらされ続けたのです。

そして、実際、海外に出てみると、
今度は、日本のスタッフではなく、
現地スタッフに同じ話をしなければならず、うんざりしました。

「同じ事をなんで何度も言わせるなんてどういうこと!？」

しかも、現地スタッフの対応が、
やる気がみられず、対応がいまいちで、

挙句の果てには、
「そんなことは、日本側のスタッフからは聞いていません。」
と、言われる始末でした。

あまりに何度も同じ事を言わなければならず、
かなり頭にきたので、
私の話を録音したものを渡してやろうか、まじで思いました。

その4

しつこい営業&営業電話

会社のホームページにある体験者の声にひかれ、
何度もそのサイトに訪れる度に、
「この会社だったら大丈夫かな。」と思うようになり、
実際に資料請求。

名前、住所、電話番号などなどの個人情報をサイトのフォームに入力して、
資料を請求する形だったので、必要項目だけ書いて送信してみました。

すると、資料ではなく、何故か直接電話がかかってきました。

「いつ頃海外へ行かれる予定ですか？」

「今は、何をなされているのですか？」

などなど、質問され、何か気分が悪いでした。

「資料だけ送ってもらえれば、電話はいらないです。」

と、言ったにもかかわらず、

数日後、資料が届き、
次の日、また電話がかかってきました。

「資料はお手元に届きましたでしょうか？」と始まり、

「どのプランをご希望ですか？」などと言って、

何故か、その会社で、契約を結ばないといけないような
雰囲気を持っていかれてしまいました。

とりあえず、
「検討中です。」ということを伝え、
なんとかその場はしのげました。

しかし、そんな電話が何度もかかってきて、
嫌だなと思ったので、

「意外とお金がかかるので、ワーキングホリデーやめます。」
と言って、電話をきりました。

ですが、その後、あまりに頭にきた怒りを抑えられず、
着番にかけなおして、

「もう二度と電話をかけてこないで！」と言って、
ブチッと電話を切ってやりました。

その5

解約金

なんとなく検索エンジンで見つけた会社が、
無料個人相談会を行っており、
ちょっとその説明会に興味があったので、
漠然とワーキングホリデーしてみたいなという気持ちを持ちながら、
参加してみました。

「ワーキングホリデーへ行って、
ファームステイ先のおじいちゃん・おばあちゃんが
英語がわからない私に、ゆっくり話しかけてくれ、
英語の勉強にもなったし、
日本ではできない農業の仕事を体験でき、いい思い出になった。」などなど、

ワーホリへ行って世界観が変わったという人々の話を聞き、
説明会が終わった頃には、
なぜか、「自分はワーキングホリデーにいこう！」
という決意をしていました。

なので、なんとなくカウンセラーと話をしようと思い
カウンセラーと話を続けていたら、

「早めに申し込んでおいた方が、
無料英会話講座を受けることができますし、
出発前にスムーズに手続きが行えます。」

などと、遠回りに高額サポートプログラムへの契約を促されていました。

何度も繰り返し言われ、
「やっぱり、早めに申し込んだ方がいいのかな...。」

と、不安になってしまい、
初めて相談した日に契約書にサインをしてしまいました。

ですが、その1週間後、
やはり、色々考えた結果、
ワーキングホリデーへどうしてもいけない事態になってしまったのです。

なので、その契約したプランを解約したかったのですが・・・

出発予定3ヶ月以前だったにもかかわらず、
契約金の30%は支払わなければならなかったのです。
(ちなみに出発予定三ヶ月以内のキャンセルだと、全額返ってきません。)

どんなに全額返金を主張しても、
最後は契約金の30%分支払わなければなりませんでした。

どう考えても、三ヶ月前から準備することなんか無いと思うのです。
すごい無駄なお金を使ったなと後悔しています。

普通の契約だったら、こんなことないと思いませんか？

その6

換算レート手数料:

高額なサポート代を支払いたくないため、
日本側の無料エージェント(サポート会社)を探していました。

高額なサポートプログラムばかり取り扱うエージェントばかり目につく中、
数件、無料エージェントと呼ばれる会社を
見つけることができました。

「無料って大丈夫かな。」と、思いながら、
実際に無料相談も受けているようだったので、
行ってみたのです。

「有料エージェントと無料エージェントの違いは何？」と疑いたくなるほど、
いや、むしろ有料エージェントより対応がいいかも。
という錯覚にさえ陥りました。

それほど、丁寧な対応だし、
有料エージェントと比べると、
サポートプログラムの値段も良心的にさえ見えました。

なので、この会社で申し込もうという気になり、
契約に踏み切った時のことです。

支払時に、理不尽な点を見つけてしまいました。

それは、支払う金額をドル換算し、
それをさらに日本円にするというやり方だったということです。

その日のレートは\$ 87円。
しかし、その無料エージェントが示してきたレートは97円。

あまりにレートが異なるので、
日本側無料エージェントに質問してみると、

「そんな他社さんでもしていますよ。」
との一点張りでした。

「一体どんだけ、ぼったくってるんだ!？」
「意味わからん。」

たまたま、そういう日本側無料エージェントに
引っかかってしまったようですが、やはり気分が悪かったです。

「手数料取りたいなら、有料エージェントにすればいいのに。」

そんな想いをどこかにぶちまけたくて、
いろんな口コミ(評価)サイトに、悪口を書いて回りました。

でも、それでもまだ、スッキリしませんでした。
被害者が増えないことを考えたら、
少しは世の中のためになっているかなと想えたことが、何よりの気休めでした。

その7

ホームステイ先、寮に関連1:

海外が初めてで、
いろんな手続きが不安だったということもあり、
高額だったのですが、
私は、高額なサポートパック(プログラム)を申し込みました。

語学学校の手配や空港お迎え、ホームステイ手配料、
そして、ホームステイ滞在費(1週間分)なども含まれていました。

最初の1週間分だけのホームステイ滞在費用が
含まれているとのことだったのです。

そのため、
どんなところに泊まることになるのか知りたかったので、
ホームステイ先の家族構成、場所はどこなのか? などなど、
細かい詳細をエージェントから色々聞いていたのです。

その情報を元に、
日本からお土産も用意し、海外へ行った時のですが、
ありえない事態が起きました。

肝心なホームステイ先の予約がされていなかったのです。
エージェントのミスです。ありえません。

それに加え、
ホームステイ先の情報が、だいぶ食い違っていました。

高いサポート代を支払ったにも関わらず、
こんな仕打ちにあうとは、思いもしませんでした。

ホームステイ先の方の問題ではありませんでしたが、
そのホームステイ先の方も準備をしていなかったため、
ちょっと迷惑そうな顔をされていました。

「なんで私がこんな目に遭わなければならないんだ!？」

考えただけでムカムカしてしまい、
すぐ表情に出てしまう私には、作り笑いをすることさえ出来ませんでした。

エージェントの方は、一応、謝っていましたが、
そんなに事の重大さを感じない感じで、余計に頭にきました。

最終的には、
到着したホームステイ先に滞在することができたのですが、
楽しいイメージだったホームステイが一転、
悪夢のようなホームステイに変わってしまいました。

「訴えてやる!」

と、叫ばずにはいられませんでした。

その8

ホームステイ先、寮に関連2:

日本側の有料サポートパックを利用して、
海外へ渡航しました。

難なくスムーズにサポートしてもらったのですが、
一点だけ気になった点がありました。

それは、ホームステイ先は、
全て見学されているという条件だったにもかかわらず、
実際はそうでなかったという点です。

そのため、最初に聞いていたホームステイ先の詳細も異なっていたので、
私は、エージェントに対して、返金を要求しました。

しかし、現地スタッフと、
何度も話しても、話が全く進まず、
最後には、日本側のエージェントスタッフと話し合うことになりました。

しかし、日本側のスタッフと話し合い、
契約内容が違うということで、
現地で返金要求したという話をしたと何度言っても、

「現地スタッフからは返金要求の話は聞いておりません。
なぜ、そのような嘘をつかれるのかわかりません。」
という反応をされました。

私も頭にきたので、
「なんでそんな嘘をつくのか分からない。」
と抗議したら、

「うちのスタッフを嘘呼ばわりするような非常識な方とは、話をしたくありません。
5万円支払いますので、
それでも納得しないのであれば、二度と話はしたくありません。」
というメールを受け取りました。

正直、呆れてしまいました。

契約を破ったのは、エージェントの方なのに、
なぜ私が悪いもの扱いをされてしまうのでしょうか。

こんな商売をしている会社なんかつぶれてしまえと、
本気で思いました。

あとがき

いかがでしたか？

日本側エージェントの一部の実態を体感していただけたでしょうか？

ただ、一つ、お伝えしなければならないことがあります。

私は、決して、

「日本側のエージェントを使うべきではない。」

と申し上げているのではなく、

「このような実態もあり、嫌な思いをされていらっしゃる方がいる。」

ということをお伝えしたかったのです。

もちろん、高額なサポート代を出して、

手厚くもてなしてもらいたい方は、一生懸命自分に合ったエージェントを探すべきです。

そうではなく、お金を無駄に使いたくないけど心配であるという方は、
現地の無料エージェントを利用することを、オススメ致します。

あなたがエージェントに求めるサービスによって、
どちらかを選択しなければならないということです。

ちなみに、私は、高額なサポート代を払うのは嫌だったので、
できるだけ自力で準備を進め、
出来ないと判断した準備を、現地エージェントを通してみました。

私の経験から言えることは、

節約してワーキングホリデーするのであれば、

自分でしっかりとワーキングホリデーの情報を集めて、

自分でどうしても出来ない学校選びなどは、現地エージェントを使えばいいと思います。

「エージェントを使わないと不安！」という方には、
私が使った現地エージェントをご紹介します。

<http://www.wh-aus.com/fwd3/supportpack>

もっとワーキングホリデーに関する情報が知りたい！というあなたは
下記 URL にて、メールサポート講座という形で配信しておりますので、
ご登録ください。

情報が必要な方はご登録下さい。
お待ちしております。See you^^

<http://www.wh-aus.com/fwd3/mm15>

瀬戸口 理蘭 (Rika Setoguchi)

rika.setoguchi@gmail.com

<http://www.wh-aus.com/>